

**JASDAQ**

平成 19 年 11 月 1 日

各 位

会社名 イフジ産業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 藤井 徳夫  
 (JASDAQ・コード番号 2924)  
 問合せ先 常務取締役 総務部長  
 仁田坂 功  
 電話番号 092-938-4561 (代表)

## 平成 20 年 3 月期中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 8 月 3 日の第 1 四半期決算発表時に公表しました平成 20 年 3 月期中間 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日) の業績予想を下記のとおり修正いたします。

## 記

1. 平成 20 年 3 月期中間業績予想 (非連結) の修正 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)  
 (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間(当期) 純利益	1株当たり 中間(当期) 純利益
前回発表予想 (A)	4,300	113	105	50	9 円 07 銭
今回修正予想 (B)	4,292	50	46	26	4 円 84 銭
増減額 (B - A)	8	63	59	24	
増減率	0.2%	55.8%	56.2%	48.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期中間)	4,240	132	133	70	12 円 72 銭

## 2. 修正の理由

中間期の売上高につきましては、販売数量は当初計画を上回ったものの、鶏卵相場が予想より低く推移し、鶏卵相場に連動する液卵の販売単価も当初計画よりも低くなったため、当初計画よりも若干下回る見込みとなりました。

中間期の損益につきましては、前期の後半に販売数量が増加し原料買付けが追いつかず、原料コストの大幅な増加を招いた状況を踏まえ、当中間期において積極的な原料買付けによる在庫政策を行いました。販売数量が好調に推移したこともあり、当初予定の買付け量を上回ったため、原料コストの増加や、原料の集荷運賃及び製品の在庫増に伴う保管費用が増加いたしました。そのため、一部で販売価格の改定を実施したものの、当初計画した損益を下回る見込みとなりました。

なお、平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) の通期業績予想につきましては、平成 19 年 11 月 8 日に予定している中間決算発表時にお知らせいたします。

上記の予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績が記載の予想と大幅に異なる結果となる可能性があります。

以上